

日本中世英語英文学会東支部

第20回研究発表会

開催日 2004年(平成16)年6月26日(土)

会場 駒澤大学駒沢校舎 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

●プログラム●

- I 受付 [11:00-12:00] 1号館4階1-401教場前
- II 開会式および東支部総会 [12:00-12:30] 1号館4階1-401教場
- (司会) 新潟大学教授 笹川壽昭
- [開会式] 日本中世英語英文学会会長挨拶 摂南大学教授 今井光規
開催校挨拶 駒澤大学学長 大谷哲夫
日本中世英語英文学会事務局長挨拶 神戸女子大学教授 海老久人
- [東支部総会] 事務局報告 東北学院大学教授 柴田良孝
会計報告および会計監査報告 駒澤大学教授 河崎征俊
中央大学教授 佐藤修二
- III 研究発表 [12:30-16:10] 1号館4階1-401教場
1. 「*Beowulf*における複合語—複合語 *Hordweard* と *Beowulf* のテーマ—」
青山学院大学大学院 三木泰弘
(司会) 信州大学教授 水野知昭
2. 「*The Border Ballads* における英雄像—“*The Battle of Otterburn*” (*Child161*) と “*The Hunting of the Cheviot*” (*Child 162*)を中心に」
白百合女子大学大学院 原田英子
(司会) 関東学院大学教授 多ヶ谷有子
3. 「中世英語英文学研究への挑戦と課題—英語学を中心に—」
立教大学教授 吉野利弘
(司会) 関東学院大学教授 多ヶ谷有子
(休憩 [14:30-14:50])
4. 「*Sir Gawain and the Green Knight* における ‘*bob and wheel*’ の機能について」
早稲田大学大学院 鈴木哲治
(司会) 白百合女子大学教授 春田節子
5. 「“*Green Man*” の騎士的異形として見た緑の騎士の意味について」 松井倫子
(司会) 白百合女子大学教授 春田節子
- IV シンポジウム [13:00-16:00] 1号館3階1-301教場
- 「HUMI プロジェクトにおける貴重書デジタル化研究の今日」
(構成・司会) 慶應義塾大学教授 高宮利行
1. 貴重書デジタル化の現在と実践例—ウィンチェスター写本の場合
HUMI プロジェクト研究員 樫村雅章

慶應義塾大学教授 高宮利行

2. デジタル書誌学と中世研究—稀観書解析支援システム開発に向けて

慶應義塾大学大学院 岸田智宏

慶應義塾大学非常勤講師 徳永聡子

慶應義塾大学教授 小沢慎治

3. XMLによる digital edition 構想—「文化的実践としての書物」のデジタル化に向けて

東京大学大学院 馬場幸栄

慶應義塾大学教授 松田隆美

V 講演 [16:15-17:30] 1号館4階1-401教場

司会 駒澤大学教授 久保内端郎

講師 慶應義塾大学名誉教授 池上 昌

「写字生は手本をどう書き写したか：John Shirley(c.1366-1456)の場合」

VI 閉会の辞 [17:30-17:40]

駒澤大学教授 河崎征俊

VII 懇親会 [18:00-20:00] 駒澤大学深沢キャンパス・洋館大ホール

● 注意事項

1. 会費（一般 **2,000** 円、学生・院生 **1,000** 円）納入につきましては、受付でご確認ください。会費未納の方は、受付で申し受けます。
当日のみ参加の方は、資料代として **500** 円を申し受けます。
2. 全館禁煙となっています。喫煙は館外の所定の場所をお願いします。
3. 昼食は学内の「大学会館（グリーンハウス）」、または「パオ」でとれます。
4. 会員控室は、本部棟 **6** 階 **6-1**、**6-2** 会議室です。
5. 書店展示場は、**1** 号館 **4** 階 **1-401** 教場前です。
6. 懇親会費（一般 **5,000** 円、学生・院生 **3,000** 円）は、当日受付でお納めください。
また、会場は正門を左折し4分程歩いたところの駒澤大学深沢キャンパス（工事中の箇所「手前に信号あり」を右折し直進する）です。

日本中世英語英文学会東支部

事務局

980-8511 仙台市青葉区土樋 **1-3-1**

東北学院大学文学部柴田良孝研究室内

TEL:022-721-3422(研究室専用)

FAX:022-264-6530（共用）